

# 令和4年10月 生育・病害虫情報（野菜）

令和4年10月24日

JAあきがわ営農支援センター

この情報は JA あきがわ管内の複数の特定圃場を巡回して、生育や病害虫発生状況を調査したものです。

ネギ	気温の低下とともに株の太りが回復してきました。ネギアザミウマの寄生は大幅に減っています。一方、黒斑病や葉枯病の被害が多く圃場でみられます。
キャベツ ハクサイ ブロッコリー	各作目とも生育は概ね順調です。キャベツでは一部の圃場でヨトウムシ類による被害がみられました。キャベツやハクサイでは結球部が食害される場合がありますので、ご注意ください。ハクサイ、ブロッコリーでは病害虫の発生は少ない傾向です。
ダイコン ニンジン	生育は概ね順調です。病害虫については現在のところ特に問題はありません。

## 黒斑病・葉枯病（ネギ）

糸状菌（カビ）による病気です。黒斑病と葉枯病は紡錘形の病斑ができて、区別するのは難しいとされています。また、葉に同時に発生する場合があります。圃場全体で葉先が枯れる症状は葉枯病とされます（写真下）。

なお、黒斑病と葉枯病の両方に登録がある薬剤があります。

